



笑顔あふれる学校 一人ひとりが輝く学校

# あいはら



相模原市立相原小学校学校だより 2026年7月17日(夏休み号) 校長 奥津 光郎

## 夏休みは「？」の種を蒔くチャンス です！

「夏休みは「？」の種を蒔くチャンス」実は昨年度の夏休み号も同じ見出しでした。(昨年度は、校長先生クイズ第2弾として取り組んでいた「石ころの中にも磁石に付く石があるのでしょうか?」を紹介しました。)

あれから1年が経ち、今は校長先生クイズ第7弾です。現在の取組は「手回しコマ」を題材にしています。休み時間になると、いろいろなお子さんが校長室に訪れ、様々な材質や形状をしたコマを競って回しています。私はというと、何秒間コマが回り続けるか、時間を計測して結果を伝えています。子どもたちは1秒でも長く回そうと何度も挑戦を繰り返しています。夢中になってコマを回しているうちに、あるお子さんが気付きました。

**いつも長く回っているコマは、木でできているものだね。なんでだろう？**

この一言で、そこに居合わせた子どもたちの考察が始まりました。

★「他のコマに比べて、木のコマは重い。」(質量)

★「よく見ると、真ん中の棒が短い。」(重心)

★「廊下の床よりも、階段下の床の方がよく回る気がする。」(摩擦)



子どもたちは、遊びの中からコマを長く回し続けるための「核心」を見いだしていました。

科学的には、コマが回り続ける現象を「ジャイロ効果」と呼ぶそうです。このジャイロ効果は、現在の私たちの豊かな社会を支える技術として、様々なものに応用されています。(スマートフォンやゲーム機のコントローラー、更には人工衛星にも応用されています！)

もしかすると、この「ジャイロ効果」という現象を発見したのも、相原小の子どもたちのように夢中になってコマ遊びに興じる中で、同じような「？」をもったことがきっかけなのかもしれません。そう考えると、子どもたちって本当にすごいですね。さあ、夏休みです。目の前の子どもたちはきっかけ次第で様々なことに興味を抱き、誰に言われることなく「探究」を始めます。

この夏も、そっと、お子さんの心の中に「？」の種を蒔いてみてはいかがでしょうか。



「？」を深掘りするためには、夏休み中に持ち帰る「タブレットPC」も強い味方になってくれます！家庭でのルール作り等に必要情報は、スクリーンにて学校とPTAから発信しています。ぜひご確認ください。



## 転居の場合は学校と登校班に連絡を【再掲】

夏季休業中に転居が決まりましたら、速やかに学校までご連絡ください。後日来校いただき、手続きと必要書類をお渡しします。また転居は登校班にも関係するため、各登校班にも必ず連絡をするようにお願いします。

令和8年度1学期も保護者の皆様、地域の方々のご理解とご協力をいただき、おかげ様で充実した時間を過ごすことができました。様々な場面でお力添えをいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。ここ数年、酷暑という言葉の通り、厳しい暑さが続きます。どうぞくれぐれも健康にはご留意ください。今後ともよろしくお願いいたします。